

大会宣言

少子高齢社会の到来や人口減少、核家族化、働き方の多様化等により家庭や地域社会等の相互扶助機能が弱体化する中で、人と人とのつながりが希薄化し、孤立死や引きこもり、経済的困窮を背景とする深刻な生活課題が顕在化しています。

また、認知症高齢者の増加や一人暮らし高齢者世帯の拡大、虐待や悪質商法などの人権侵害や介護難民や買い物難民など、様々な困難を抱える人たちも増加しています。

このような中、国においては子ども・障がい・介護等の各分野で制度の見直しが行われていますが、これらの生活課題に柔軟に対応するためには、制度内の福祉サービスの縦割りを改善するとともに、制度の狭間にある問題にも果敢に取り組んでいくことが求められます。

そのためには、私たち自身が「暮らし続けたいと思う地域の姿」を描き、様々な形で参画し、専門職や関係機関、企業、福祉施設、社会福祉協議会など地域社会のあらゆる構成員と連携・協働し、制度外のサービスや活動を積極的に展開しながら、地域コミュニティを再生していかなければなりません。

本日、第65回魚津市社会福祉大会を迎え、私たちは地域の支え合い・助け合いの大切さを再認識し、だれもが住み慣れたこの魚津市で安心して過ごせる地域福祉のまちづくりの実現に向け努力することを誓い、ここに宣言します。

平成28年7月9日

第65回魚津市社会福祉大会